

# 魔法のランププロジェクト 成果報告会

情報携帯端末の活用によって  
QOLを高める意識を持たせる指導

～家庭との連携を通して～

沖縄県うるま市立 伊波中学校  
教諭 久貝 元香

# 環境(実態)調査

- ・ 今年度、難聴学級が設置
- ・ 保護者(母親)と本プロジェクトについて
- ・ 新学期がスタートし、困難を保護者(母親)から確認

# 保護者からの情報

## ①部活に加入し頑張っているが.....

練習後の迎えや、大会及び練習試合に出かけた時に、待ち合わせの場所や時間の確認に、公衆電話を活用しているが、母親の声が聴きとれず一方通行のやりとりになっているのが困る。不安が大きい

# 保護者からの情報

## ②周囲が思うほど情報を取得していない

人工内耳を3歳8月に装着。それ以前や、当たり前的事を知らない事もある。(情報不足)

男性の声や放送機器による情報入手が困難

テレビは、字幕で視聴。

# 保護者からの情報

③中学校までを“遠い”と表現している。



経路



〒900-0036 沖縄県 那覇市 西3丁目1...

小学校

高等学校

自宅

進学高校予定(近いから)

中学校

3D

# 指導したい内容

- ・ 連絡をスムーズにできるようにしたい（双方の不安解消）
- ・ いつでも情報を収集できる環境にしたい（身近な物に）
- ・ 進路決定を“近いから”の理由で決めるのではなく、その他の高校への意識が持てるようにするには本人の単独行動がポイントになると判断し、バスに乗車できるようにしたい（先を見据えた指導）

## 三者面談(五月連休明け)・・・本人確認

iPadを使って

- ①連絡がスムーズにできることを目標に取り組む。
- ②必要な情報を調べるようにする。
- ③公共交通機関(バス)で単独行動ができる。



①連絡がスムーズにできることを目標に取り組む。



アプリ「メール」を使って、母親の携帯電話とやり取りができるように設定や方法を指導。  
部活帰りに、公衆電話での連絡が厳しい事で、管理者等に説明し、登校後担任に預け、部活終了後受け取るルールの確認をした。



連絡はスムーズに行うことができ、叔父叔母とも連絡ができるようになってきた。

②必要な情報を調べるようにする

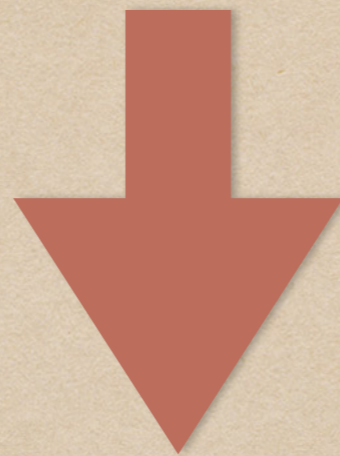


検索サイトを活用して、自宅で学習の補いや関心ある事項について、調べるように指導



“難聴でも働ける仕事”のキーワードで調べていることを、母親が履歴で確認した。母親も“驚きました”と、連絡をくれた。

# iPadは楽しくて、便利



③公共交通機関(バス)で単独行動ができる

一人で動けることで、いろいろな場所に行ける  
これから先、保護者に頼らないで、行ける  
母親が、自由に動くことができる



バス停があった！  
48番のバスみたよ



移動中は、GPS機能で動  
いていることを確認



キャプチャし、現在地を  
メールで送信できること  
を理解



# バスナビ沖縄

沖縄本島の出発地と目的地の停留所

- 3 [川平 (恩納村向け)]
- 4 [船越 (恩納村向け)]
- 5 [長浜 (恩納村向け)]
- 6 [宇加地 (仲泊向け)]
- 7 [与久田 (仲泊向け)]
- 8 [高里 (仲泊向け)]
- 9 [美里 (仲泊向け)]
- 10 [塩屋 (仲泊向け)]
- 11 [真栄田 (仲泊向け)]
- 12 [第二山田 (仲泊向け)]

**出発地と目的地**

**乗車バス停(出発地)**

**利用設定**

**ご利用日時をお知らせください**

**ご利用日**

乗車バス停(出発地)  → 降車バス停(目的地)

利用設定

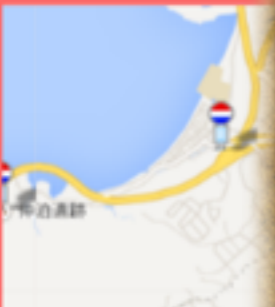
ご利用日時

- 料金順
- 早時間順
- 乗換回数順

- 経路1
- 経路2
- 経路3
- 経路4
- 経路5

所要時間:2分 運賃:160円 乗継回数:0

<input type="checkbox"/>	石川公民館前/沖縄県路線バス [時刻表]	
06:18 ~ 06:20	沖縄バス・77名護東線(久茂地経由)・那覇バスターミナル行	160円
<input type="checkbox"/>	東恩納/沖縄県路線バス [時刻表]	



下記のメニューから停留所を検索

**キーワードから探す**

キーワードの入力  
漢字または仮名で入力してください。停留所名の部分検索もできます。



プライバシーポリシー

## 各バス会社が

- 2013.05.01 **那覇バス** バスナビ 一覧を見る
- 2013.05.01 **琉球バス** バスナビ 一覧を見る
- 2013.05.01 **東陽バス** バスナビ 一覧を見る
- 2013.07.12 **沖縄バス** 夏休み 一覧を見る

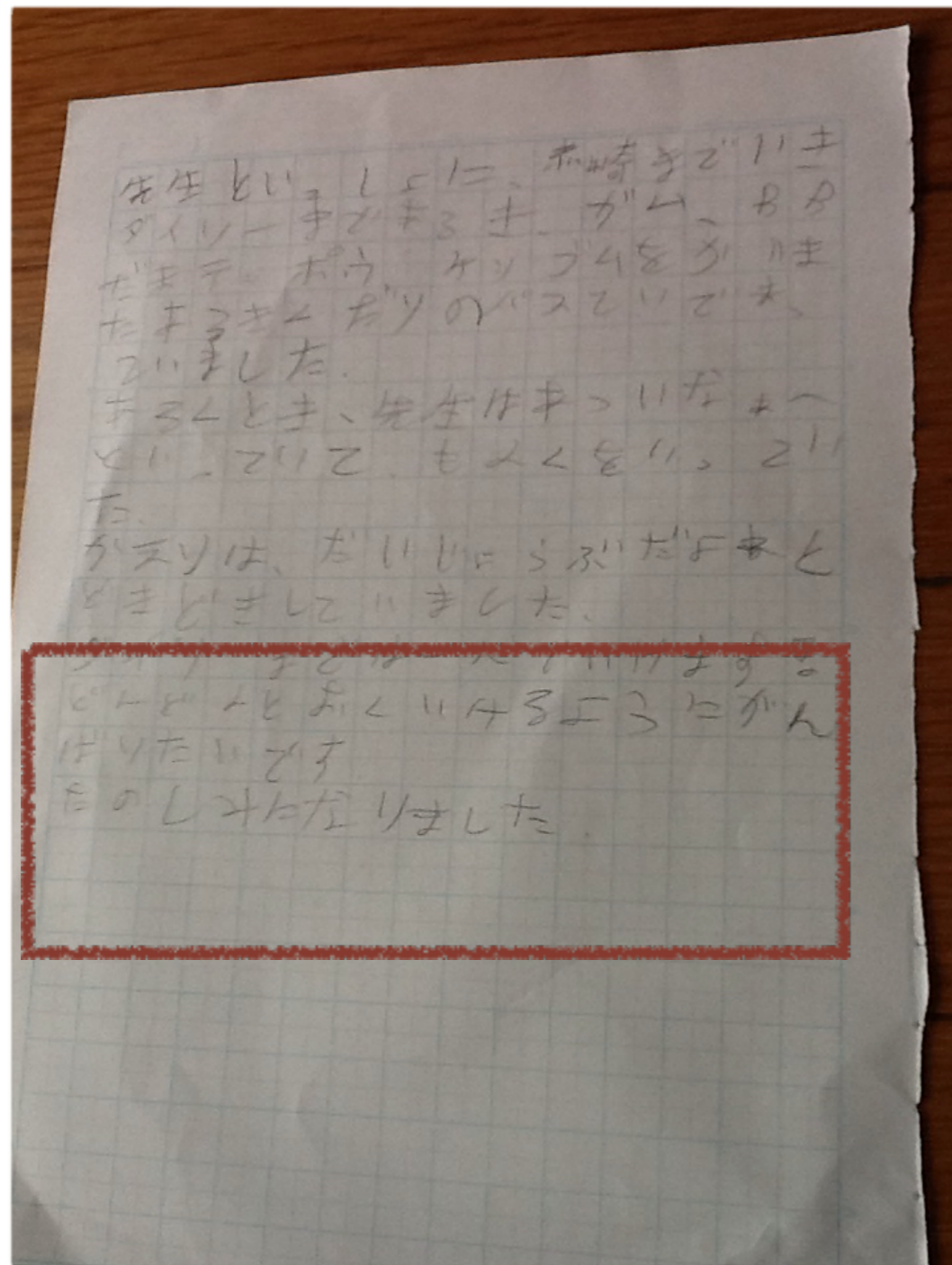


別の条件で再検索する

# 実践



## 宿題:体験文をメールで送信してください



どんどんとおくにいけるよう  
にがんばりたいです。たの  
しみになりました。



# 今後の見通し！

- ・ ①メールの送受信について
- ・ 単独で動くことへの母子双方にある不安解消から、ネットワークを少しずつ広げることで、同じ障害を持つ同年代とのコミュニケーションや先輩方からのアドバイスを受けられることができ、QOL(生活の質)を高めようとする事ができる。

# 今後の見通し！

- ◆ ②情報入手

- ◆ 本人の聞こえの状態をチェックしながら、音声増幅アプリ等が学習中に活用可能なのかを、保護者・本人・主治医と相談しながら、合理的配慮の中でどのように活用していけるかを考えていきたい。

# 今後の見通し！

- ・ ③公共交通機関(バス)で動ける自信によって
- ・ 進級するにつれ、高校選択の進路学習が増えてくる。その時に単独で動ける自信が身についていることで、進路学習へ不安なく積極的に参加ができ、志望校を決定することができる。

# 最後に！

本プロジェクトを通して、携帯情報端末を活用し  
困難が解消できたという事を実感させる事ができ  
れば、今後において、自ら携帯情報端末を上手に  
活用しながら、その壁を乗り越えていけると期待  
できるので、最後に"できた"という自信を植え付け  
たい。そしてこれから、合理的配慮について理解  
させ、その自信とともに自立へ向けた生活を目指  
す方向に持っていきたい。